Okuyama Conservation National Trust Newsletter

トラストだより 29号

公益財団法人 奥山保全トラスト会報　VOL.29／2024.1.11

紅葉が見ごろを迎えた奥飛騨温泉郷トラスト地（写真奥の斜面、2023年10月23日　職員撮影）

生命あふれる奥山水源域のトラストの実現を

理事長　米田 真理子

年が改まり、厳しい寒さの中にも清々しさが感じられます。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当財団は、コロナ禍の最中も、水源の森の取得を目指して、視察や調査、情報収集を続けて参りました。その成果と皆様の温かいご支援のおかげで、昨年度は、新潟県の168ヘクタールという広大な森林、中国地方で初めてとなる広島県の2ヶ所の森、計3ヵ所の新たなトラスト地の取得を実現しました。

しかし昨秋、山の中の食料が減り、冬ごもり前の食い込みができなくなったクマたちが、山から里に出て来ることが連日ニュースで報道されました。クマによる人的被害は統計開始以降最多にのぼり、人もクマも不幸な事態になっているということに心が痛みます。クマの捕殺は根本解決にならず、生物多様性の保たれた森林を失うことにもなりかねません。野生動物の生息地を保証し、棲み分けを図るという根本解決が不可欠です。生物多様性の保たれた森は、私たちの生命・生活を支えます。野生動物のすみかを守ることは、ひいては私たちの命をも守ることにつながります。今年度も、生命溢れる奥山水源域のナショナル・トラストの実現を目指してまいります。皆さまにとりまして本年が幸多き年でありますよう、祈念申し上げます。

当財団の活動にご賛同いただき、支えてくださる会員様を募集しています。
活動を広げていくために、ご支援・ご寄附をお願い申し上げます。

VISA　MasterCard

ホームページからお願いします。

https://www.okuyama-trust.org/**ご入会-ご寄附**/

※太字部分は日本語入力です。

ＱＲコードはこちら→

財団所有トラスト地　全国２２か所
合計面積２，５３５ha

～森を守り、水を守り、命を守る～　公益財団法人奥山保全トラスト
〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4 熊森ビル3階　電話・FAX 0798-34-0980

～森を守り、水を守り、命を守る～

岐阜県高山市
奥飛騨温泉郷トラスト地

第9回トラスト地ツアー開催報告
～火山のエネルギーを感じる自然の旅～

奥飛騨温泉郷トラスト地概要

- 中部山岳国立公園第二種特別地域に位置
- 焼岳（活火山）の麓
- 神通川の源流域
- 亜高山性の豊かな植生が保たれた天然林

▲トラスト地の看板を背景に記念撮影

10月28、29日に岐阜県高山市奥飛騨温泉郷にてトラスト地ツアーを実施しました。

目的地である焼岳は、紅葉のピークを迎え、辺り一面の木々が橙色や黄色に染まります。活火山らしく道中の枝沢ではきれいな沢水を湛えているところもあれば、硫黄のにおいが立ち込め、温泉水が噴出している場所もあり、大地の鼓動が感じられました。道沿いに植物や動物の痕跡などの説明をしながら、トラスト地を歩き、参加者の方々に豊かな自然を体感していただきました。2日目は、焼岳登山道へ。雨上がりの苔むす原生林が幻想的で、折り返し地点からは白水谷にある「白水の滝」を望み、雄大な自然美を楽しみました。

飛騨産業株式会社、岡田贊三代表取締役社長にもご参加いただきました。今まで捨てられていた節のある木材を利用したり、有効利用されていない「杉」を加熱圧縮し、家具用材として利用したり、画期的なアイディアで飛騨産業を復活させた岡田会長。飛騨の匠の技術と森とのつながりを大切にしながら歩み続ける飛騨産業の理念や取り組みについてお話しいただきました。

今回のツアーは、全国から13名の方々にご参加いただき、(財)日本熊森協会本部スタッフと岐阜県支部の皆さまのご協力のもと開催できました。「共生ということがどれだけ大切か、人間が森にどれだけ生かされているか、改めて森の大切さを深く知ることができました」という嬉しいご感想も届きました。

今後も、豊かな水源の森の神秘や生物多様性の意義を伝えるツアーを企画して参ります。

▲穏やかな笑顔で語る
岡田贊三会長

トラスト地での活動写真

▲根尾越波トラスト地（10月22日）

▲雨飾山トラスト地（11月3日）

▲池ノ谷トラスト地（11月11日）

トラスト地取得・管理資金等にご協力ください

・ゆうちょ銀行振替口座　００９２０-４-３０５９９３
（口座名）公益財団法人　奥山保全トラスト